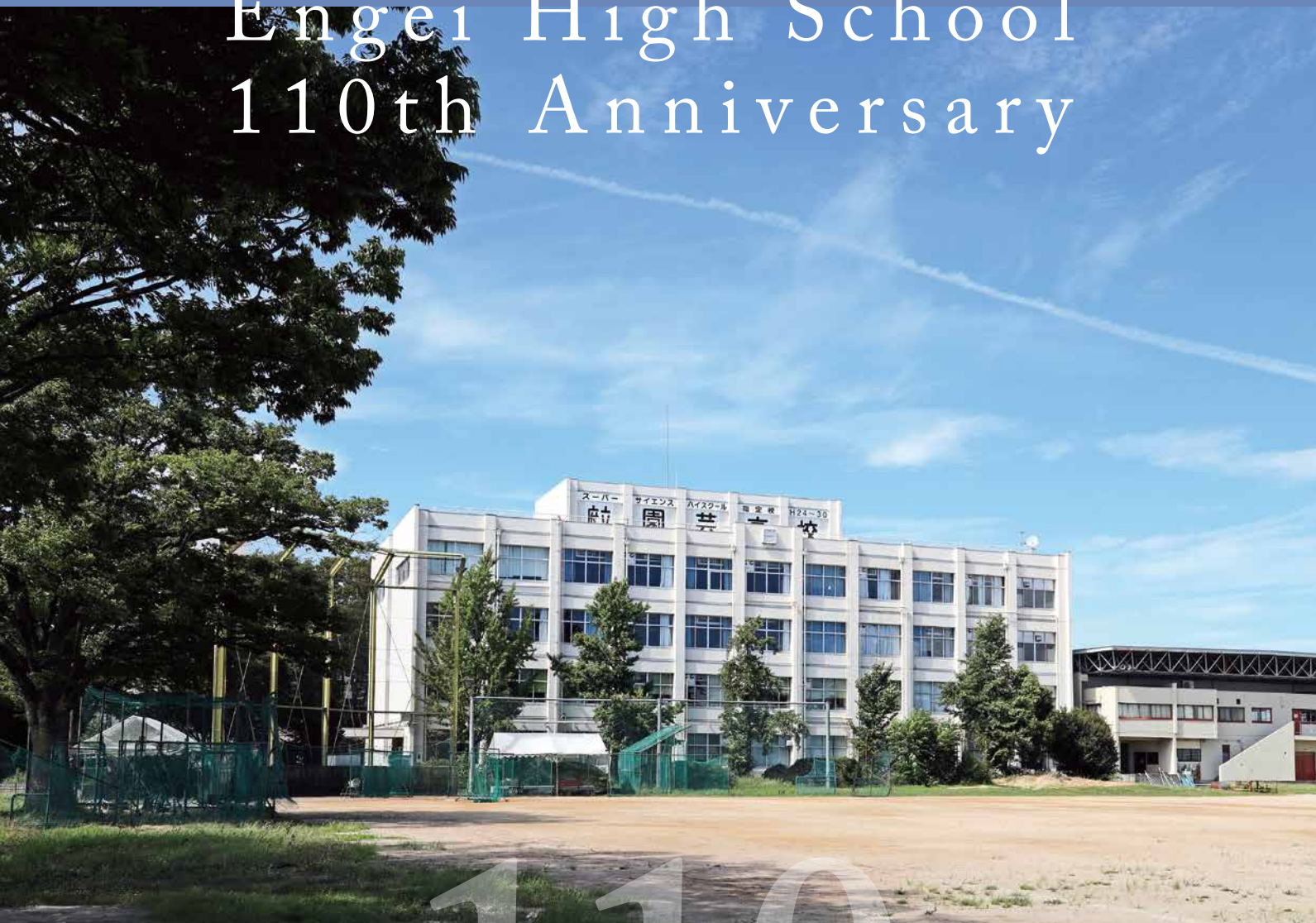

Engei High School 110th Anniversary



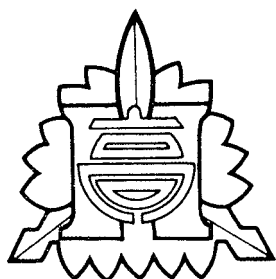
創立110周年記念誌
大阪府立園芸高等学校

■ 校訓

勤 労 誠 実 創 造



■ 校章



校章の由来

中央に高等学校の高を白く浮かし、その下に Horticulture (園芸) の H が重なっている。
上部にのぞいている葉はオリーブで、果樹を象徴し、花言葉では体育を意味する。
下に突出している二葉は薄荷 (ハッカ) で、野菜を象徴し、徳育を表わしている。
左右と下にある三片のギザギザ型は、なでしこの草花を象徴し、知育を意味している。

■ 校旗



■ 校歌

作詞 安西 冬衛 作曲 高木 東六

一、銀杏の木陰道ひろく
真理にひらく知恵の門
みのりゆたかにいま結ぶ
木の实尊き掌
幸ありわれらわれらが腕
土のかおりもさわやかに

二、学びの庭の美しく
日ごとにはげむ園の芸
ひとみさやかにいま究む
こころすずしき花薔薇
栄ありわれらわれらがいのち
匂ういぶきもすこやかに

三、豊島の広野芝青く
理想をめざす若き眉
おもいまだかにいま仰ぐ
ひかりまばゆき揚雲雀
晴れたりわれらわれらが未来
春のつばさもおおらかに



挨拶

創立110周年を迎えて

校長 竹田 賢司

本校は、大正4(1915)年、豊能郡立農林学校として開校しました。その後、豊能郡立農商学校、大阪府立農商学校と改称し、1924年に大阪府立農学校から園芸科が独立し、大阪府立農商学校と合併する形で、新学制とともに大阪府立園芸学校が誕生し、現在に至っています。今年度は創立110周年を迎えました。豊能郡立農林学校として開校して以来、数多くの有為な人材を世に輩出してきました。

本校は、平成27(2015)年に100周年という大きな節目を迎え、記念式典や記念事業など盛大に執り行われましたが、それから現在に至る10年間は様々な面で「変化」の時代となりました。その中でも、大きな変化をもたらしたのが、新型コロナウイルス感染症であると言えます。

2020年の4月、新型コロナウイルスが日本でも拡大し、緊急事態宣言が発出され、臨時休校という異例の形で新年度を迎えました。6月に登校が再開しましたが、時間短縮や、マスク着用、机間の十分な確保など、数多くの感染防止対策を実施しながらの授業再開でした。この年度は、新型コロナウイルス感染症のため、創立記念祭、体育祭などかなりの制限がかかる中での実施となりました。結果的に学校生活がほぼ正常化するまでには約3年の月日を要することになりましたが、その間、生徒一人ひとりの「青春の1ページ」にできるだけ良い思い出が残るよう、教職員、生徒が一緒になって、できることを真剣に考えながら、教育活動を進めていったことは特筆に値します。また、DX化が加速する中、新型コロナウイルス感染症が重なり、一人一台端末が急速に整備されることとなりました。さらに、2022年度から、年次進行で新学習指導要領が実施され、特に今回の新学習指導要領では、3観点評価が導入されるなど、新学習指導要領に沿う形で、授業形態や内

容などが大幅に変化していきました。

また、社会的な面に目を向けますと、社会構造の変化や、価値観の多様性など、世界規模で変化の激しい時代になっています。特に農業分野では、全国共済農業協同組合連合会が2023年に実施した調査によると、「今後、農業をやってみたいですか」という質問に対して、一番肯定的な回答が多かったのが10代で28.5%でした。さらに、就職志向のある学生が、「今後の就職先として農業は?」という問いに対して「可能性あり」と回答した割合は28.1%でした。この調査から、農業経験がなくても農業に対して、ポジティブな面がネガティブな面より優位になってきていることが示されました。さらに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業や、SDGsを意識した農業など、国内外を問わず、様々な取り組みが行われており、農業に関する社会的な関心は、特に若い世代で高まってきています。そうした中、このような新たな社会の関心や要請に対応できるよう、本校が農業高校としてその機能を十分に発揮していかなければならない責務を改めて感じていると同時に、農業高校としての教育内容をさらに充実させていく決意を新たにしているところです。

最後になりましたが、本校は、このように社会の変化に柔軟に対応しながら、農業だけでなく各種産業や地域社会の発展に貢献できる人材を輩出できるよう、教職員一同、全力を尽くす所存です。本校が110周年を迎えることができたのは、PTA、同窓会並びに地域の皆様など本校に携わっていただきました皆様から物心共に多大なご支援をいただいた賜物であると存じます。これに対しまして、衷心より敬意と感謝の意を表しますとともに、本校の教育活動に、引き続きご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。ご挨拶といたします。



挨拶

創立110周年によせて

大園同窓会会長 小南 修身

大阪府立園芸高等学校が創立110周年という輝かしい節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

1915年（大正4年）豊能郡立農林学校として当時の秦野村尊鉢にて開校、以来秦野村大字畑（現在の府立池田高等学校の敷地）に移転ののち、1941年現在の八王寺の地に根ざすという長い歴史の中で、諸先輩方また関係者の皆様の並々なご労苦のもと、大阪府の公立高校で最も広い敷地を有する（11ha）豊かな自然環境の中、その恵みである生産技術と共に学業に歩んできました。そして本同窓会も初代会長小原豊雲先生（華道小原流家元）のご尽力のもと現在も引き継ぎをさせていただいています。

園芸高校110年の歴史において、農園芸の奥深さと四季折々の美しい表情を見せる自然の摂理が、生徒たちの探求心と持続可能な未来を創造する学びを育む大切な要素となっていると確信するものです。このような風土のもと、生徒が育てた野菜、果物、草花、加工品などの販売、各種コンクールでの多数の受賞歴は内外に誇るものであります。

近年における、地球規模での気候変動が進行する中、園芸高校の果たす役割はますます重要になり、スマート農業の導入や環境緑化の研究、バイオテクノロジーの活用など未来を見据えた学問を探究する場として期待するところであります。

これからも大阪府立園芸高校は、この恵まれた環境を最大限に活用し、この記念すべき110周年を契機に更なる発展を遂げられますようご祈念申し上げます。



挨拶

創立110周年を迎えて

PTA 会長 山中 友美

園芸高校が本年、記念すべき110周年を迎えられたことに、校長先生をはじめ、先生方や卒業生の皆様方、在校生や保護者の皆様方、地域の皆様方に心からお祝いとお喜びを申し上げます。

本校は、地域社会の発展に多大なる貢献をされ、数多くの有為な人材を育成してられました。

常に時代の変化に対応し、先進的な教育を実践されていることに深く敬意を表します。

これもひとえに、これまで学校を支えてこられた先生方、職員の皆様の情熱的な指導、そして地域の皆様、保護者の皆様の温かい応援があったからこそと深く感謝いたします。

私たち PTA も行事や活動を通して子ども達の成長をすぐそばで見守り続けて応援してきました。

泥だらけになったり、暑さに耐えながら実習に励む姿や真剣な顔で研究に取り組む姿は私たちにとっても忘れられない宝物です。

近年、気候変動や食の安全など多くの課題に直面しています。だからこそ、本校で学んだ知識や技術がこれまで以上に社会から求められると感じています。

生徒の皆さんはこの素晴らしい環境と歴史を持つ園芸高校で学ぶことができラッキーです。

先生方の教えをしっかりと受け止めて仲間と力を合わせこれからの日本を豊かにしてくれると心から信じています。

最後に、園芸高校のこれからのますますの発展を心よりお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



創立110周年に寄せて～おいしい学校は永遠に！～

第19代校長 神 絵里香

大阪府立園芸高等学校の創立110周年を、心からお祝い申し上げます。

第19代校長として、令和4年度から3年間勤務させていただきました。実は、その3年間を含めると、創立100周年の年から10年間という長い間、園芸高校に勤務させていただいていました。普通高校から転勤してきた私には、園芸高校の体験を通しての探求型の学びは珍しく、とても素晴らしい取り組みだ！と感動していました。また、当時はSSHにもかかわっており、生徒が行う課題研究に関しても、多くの先生方がかわり、生徒一人ひとりの思いや、考えを大切にされ取り組まれている様子を、私自身も生徒のために何かを！と思わせていただける環境でした。また、授業を担当させていただいた間に会った生徒達は、時にははじめてしまうこともありましたが、愛情には愛情で応えることができ、信頼には信頼を寄せることができる生徒であったように思います。

校長になってからは、園芸高校のPRとして「おいしい学校～古きよきものは常に新しい、不易流行～」をキャッチコピーに園芸高校の魅力を伝えていました。これは、生産物、学習内容、進路と園芸高校のおいしいところを目いっぱい伝えていくものでした。この「おいしい学校」のキャッチコピーも知的財産の授業で生徒が作ったものであり、生徒の大切な思いを伝えるものでした。

私が得たこの経験や感動、そして皆さんの素晴らしい活動を、ぜひ、未来につなげてほしいです。頑張れ園芸生！はばたけ未来へ！！



創立110周年をステップに

第18代校長 眞鍋 政明

大阪府立園芸高等学校が創立110周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私の校長在任期間に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行（パンデミック）という未曾有の試練に直面することになりました。様々な工夫や対応を試みることにより、乗り越えることができましたのは、生徒、保護者、教職員の皆さんの理解と協力があったからこそと思っています。

さて、競争原理や市場原理を教育に取り入れ、効率化・成果主義を重視する新自由主義的な考えが広く浸透してきました。その結果、様々な格差が生じ、少子化のさらなる進行にもつながっていると思われます。本校におきましては、すでに入学者選抜での定員割れが生じ、今後、私立高校の授業料の無償化による影響が心配されます。

ところで、昨年から今年にかけて、米の価格高騰と品薄状態から、いわゆる「令和の米騒動」が起きました。自動車産業などに大きく依存してきたわが国でも、「食糧安全保障」という言葉がやっと聞かれるようになりました。

本校をはじめとする農業高校の役割は、農業や関連産業を通して、地域や社会の持続可能な発展に貢献できる職業人を育成することで、言い換えれば「食料自給率の向上」「食糧安全保障」を担うことでもあります。

本校の今後の在り方を考えていく中で、生徒たちが生き物と向き合いながら、命の尊さや勤労の意義を体感し農や食の大切さを学ぶことのできる農業高校がいかに必要不可欠な教育ツールを有しているのかを府レベルから国レベルに周知していくことが大事です。このことが本校の存続にも大きくかかわってくると思われます。今こそ、大園同窓会をはじめ、在校生、保護者、教職員、その他関係者の皆様が、本気になり知恵と力を結集する時期ではないでしょうか。



創立110周年を祝して

第17代校長 北之防 勉

大阪府立園芸高等学校が大正4年の開校以来、数々の歴史を塗り替えながら発展してこられ、110周年を迎えられることに對し、心よりお祝いを申し上げます。

第17代校長として、10年前に創立100周年の記念事業に関わらせていただいた事、つい最近のように思えます。当時は歴代校長先生、教職員の皆様、保護者の皆様、同窓会、後援会の皆様に多くのご支援とご協力を賜り無事に記念事業を終えることができました。改めまして厚くお礼申し上げます。

昨今の日本の農業を取り巻く状況は目まぐるしく変化し、今後の日本の農業のあり方についても深く議論がなされています。食料自給率の向上、食の安全確保、高齢化に伴う農業従事者の減少対策など多くの課題に向かっているといえなければなりません。本校のような農業関連高校が果たす役割は益々大きなものになります。本校が以前より実践し成果を上げてきた研究支援活動や農業を支える人材育成活動は、必ず近い将来、より大きな重要性を持つと信じています。

今後も園芸高等学校の成果が高く評価され、池田の地で華やかな歴史を刻み続けられることを祈念いたしまして創立110周年記念にあたっての祝辞とさせていただきます。

1915~2025 大正4年～令和7年

大正4(1915)年	豊能郡立農林学校設置認可され旧豊能郡秦野村尊鉢(現池田井口堂・鉢塚)にて開校。
大正9(1920)年	豊能郡立農商学校と改称。商業科を設置する。甲種程度に改組。
大正12(1923)年	郡制廃止により大阪府立農商学校と改称する。
大正13(1924)年	大阪府立園芸学校と改称。組織変更認可を受ける。大阪府立農学校園芸科を同校より分離し独立せしめたものである。同時に旧農商学校校舎を池田町大字畑に移築開校する。
昭和11(1936)年	旧校歌制定(作詞加藤順三、作曲松村順吉、両氏とも京女専教授)。
昭和12(1937)年	修業年限5年制の第1本科併設の許可を受ける。当時5年制の園芸科は画期的と評判があった。
昭和16(1941)年	神田町への正式移転を実施。
昭和19(1944)年	農産体制増強のため大阪農業専門学校を併設し園芸科、農芸化学科の2科を設置。
昭和20(1945)年	日本が無条件降伏し占領軍政下に入る。
昭和21(1946)年	農芸化学科を新設する(2回の募集のみで昭和22年には募集停止)。
昭和22(1947)年	教育基本法、学校教育法公布、新制中学発足
昭和23(1948)年	大阪府立園芸高等学校と改称、能勢分校(全日制)、東能勢、田尻、能勢、西能勢の4分校(定時制)設置。
昭和24(1949)年	本校に単位クラブの農業クラブ(F・H・J)が発足。日本の明日の園芸家クラブ(F・H・J)会則制定。
昭和25(1950)年	西能勢分校(全日制)設置。本校に5日制を施行(昭和31年4月まで)。 学校農業クラブ(F F J)大阪府連盟結成、F F J 全国連盟、東京にて結成大会、本校も即日加盟。この年短期大学制発足。
昭和26(1951)年	大阪農業専門学校(旧制)を廃止し、大阪農専は新制大阪府立浪速大学農学部となる。 東能勢分校に農業科(昼間定時制)を置く。 大阪にてF F J 全国大会開催。本校は事務局として活躍。
昭和29(1954)年	能勢、西能勢、田尻分校合併独立して府立能勢高校となる。
昭和30(1955)年	カリキュラムを改訂して農芸化学コースを設ける。(入学生40名)女子生徒16名初めて入学する。 新校歌を制定。松井翠氏らの尽力でレコードに吹き込み。 生徒クラブ雑誌「木の実」創刊。F F J 府連盟機関誌「熱汗」創刊。
昭和31(1956)年	農芸化学科設置認可。
昭和34(1959)年	運動場の全面改修完成。 高校としての新校旗制定。 大園同窓会発足。
昭和35(1960)年	同窓会の協力で新食堂を開設。
昭和36(1961)年	応用微生物実験棟建設認可。 農業基本法の公布、施行。
昭和37(1962)年	柔道場新設。
昭和38(1963)年	40周年記念プール完成。 造園科を設置、農芸化学科の定員を2学級80名に増員する(この年から6学級)。 東能勢分校定時制募集停止し、全日制課程を設置。 講堂火災で焼失、原因不明。
昭和39(1964)年	40周年記念同窓会館竣工。 H・R棟竣工。
昭和40(1965)年	40周年記念噴水庭園完成。
昭和42(1967)年	園芸科が3学級から2学級となる。
昭和43(1968)年	校訓を制定。
昭和44(1969)年	園芸科に園芸デザインコースを設置する。園芸科の学級数が3学級に戻る。
昭和45(1970)年	園芸科棟、農芸化学科棟など完成。引き続き第2期工事、代替地買収などに着手。
昭和46(1971)年	付属棟、造園科棟など完成。
昭和47(1972)年	東能勢分校農業科を募集停止し園芸科を設置。 園芸管理棟、特別教室棟完成。本館工事のため職員室など移転。

昭和47(1972)年	H・R棟改修。
昭和48(1973)年	本館棟、バスケットコートなど完成。
昭和49(1974)年	必修クラブ実施。東能勢分校に普通科を置く。
昭和51(1976)年	東能勢分校が独立して府立城山高等学校となる。
昭和55(1980)年	草花礫耕切花温室新設。
昭和58(1983)年	農学校発足100年記念式典(文部省)。
昭和59(1984)年	創立70周年記念実行委員会結成。
昭和62(1987)年	造園科・農芸化学科廃止。 環境緑化科設置、微生物技術科設置。
平成元(1989)年	園芸科廃止。フラワーファクトリ科の設置。
平成2(1990)年	フラワースタディーハウス完成。
平成5(1993)年	フラワーファクトリ科が3学級から2学級となる。
平成6(1994)年	フラワースタディーハウス前に花時計完成。 男子がブレザータイプの制服となり、あわせて女子のデザインも変更。
平成7(1995)年	阪神淡路大震災発生(当日は臨時休校となる)。
平成10(1998)年	耐寒登山を耐寒マラソン大会に変更する(服部緑地公園)。 入学試験で兵庫県(西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町)からの受験を認める。
平成11(1999)年	この年の卒業で高校になってからの卒業生が10,000名を超える。
平成14(2002)年	学校完全週5日制実施。
平成15(2003)年	入学定員のすべてを前期入学者選抜で募集する。 知的障がいを持つ生徒の高等学校入学に関する調査研究校となる。
平成17(2005)年	神田池田線拡幅工事完成。
平成18(2006)年	微生物技術科廃止。バイオサイエンス科設置。府立城山高等学校との機能統合による学科改編。
平成19(2007)年	本館、特別科棟、体育館、管理棟の補修工事(耐震補強も含む)を実施。
平成24(2012)年	SSH(スーパーサイエンスハイスクール)研究指定校に選ばれる。(平成24年～29年) ホームルーム棟、バイオサイエンス科棟、フラワーファクトリ科棟、環境緑化科棟の耐震補強工事を実施。
平成27(2015)年	体育館の耐震補強工事を実施。 F F J 全国大会平板測量競技会ブレ大会実施(万博記念公園運動場)。F F J 全国大会実物鑑定競技ブレ大会実施。 創立100周年記念式典挙行。
平成28(2016)年	今年度入学生から新しい制服となる。 第67回F F J 全国大会大阪大会開催。平板測量競技会大会実施(万博記念公園運動場)。実物鑑定競技大会実施(園芸高校)。クラブ員代表者会議実施(農芸高校)。
平成29(2017)年	「2017食博覧会・大阪」に出展。
平成30(2018)年	大阪府北部地震発生。台風21号により実習庭園被害。
令和元(2019)年	ブロック塀からネットフェンスになる。コロナウイルス感染症が流行。
令和2(2020)年	知財力開発校支援事業(R2～R5)、第5回全国農業高校・農業大学校ホームページコンテスト大阪府代表選出、JA大阪北部農産物直売所で本校の農産品販売開始。
令和3(2021)年	アジア初発見キノコ校内で同定。
令和4(2022)年	スマート専門高校認定、新入生より新カリキュラム開始。
令和5(2023)年	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行。
令和6(2024)年	高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金(高等学校DX加速化推進事業)。 F F J 全国大会 意見発表の部 出場
令和7(2025)年	大阪・関西万博開催(遠足及びSTEAM授業で参加)

第67回 日本学校農業クラブ全国大会（平成28年度 大阪大会）

園芸高校に全国の農業高校生1000人が集結！農業鑑定競技を実施



元フラワーファクトリ科教員 園芸科34期（昭和57年）卒

足立 享志

毎年、秋に開催されている様々な分野の農業高校生の日本一を決める農業クラブ全国大会。47各都道府県、地方別の9ブロックのそれぞれの大会を突破してきた研究発表・意見発表。各都道府県の代表となった47チームが技術を競う平板測量大会。農業に関する実物を見て、知識を問う農業鑑定競技。全国の農業高校がこれからの農業高校のあり方・目指す方向を議論するクラブ員代表者会議など農業高校の甲子園と言われる大会です。それが、2016年度、大阪府の農業高校が担当して開催されました。園芸高校は農業鑑定競技、平板測量競技、クラブ員代表者会議の3つを担当し、そのうち農業鑑定競技は園芸高校の敷地を使って行われました。

農業鑑定競技は農業、園芸、畜産、食品加工などの8つの部門から予め選んだ1つについて展示された実物に関する質問に回答するものです。なお、実物1つにつき1問、全部で50問となります。また、この競技は全国の農業高校1校につき代表が数名出場できることになっています。

以下は当時の私がSNSに投稿した当日の様子です。

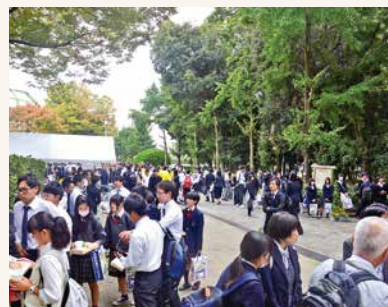
園芸高校は農業鑑定競技会の会場となり全国から生徒1007人、先生（校長を含）330人がやってきました。校内には人、人、人！園芸高校の人口密度は記念祭をはるかに超えた感じでした。在校生もお迎えする気持ちを持ち、緊張しながらも丁寧な応対ができました。普段ではみられないような礼儀正しい姿！すごくよい刺激になったと思います。選手は石橋駅から徒歩で本校まで来たのですが、駅周辺にも在校生の出迎えがあり、こんなところまでと評判も上々！ただ、地元商店街には前もって話をしていたので問題はなかったのですが、一度に大勢が駅に押し掛けたせいで石橋駅を利用する人からは「なんだこれは！」とのおしかりが。朝から駅周辺でトラブルも発生したようです。想定外の対応にその場にいた先生はすごく大変だったようです。競技自体は順調に行え、この競技をよく知る他校の先生から「このように全くミスがないのは見たことがない」と大絶賛！生徒・職員が一生懸命がんばった賜物ですね。昼食時の庭園はお弁当を食する人達でにぎわいをみせ、この日に向けて手入れを行ってきた環境緑化科の人達に感謝！アンケートでも「学校がきれい」「生徒が元気」と数多くのお褒めのことば！お越しになったみなさんにはよい思い出をつくってもらえたのではと思います。私は競技後、採点や審査、賞状の仕分けなどで翌日6:30まで起きていることに！次の日の授業が堪能しました。



石橋駅の横断幕



校門の垂れ幕



選手受付



カウントダウンボード

大阪で全国大会を迎えるのは45年ぶり。本当によい経験をさせていただきました。

当時の園芸高校で全校生徒、全教員が一丸となって取り組んでいた様子がよくわかります。開催は10月26、27日だったのですが夏休み以降は授業もシフトし、大会に向けて連日、生徒も先生も準備に追われていました。ほんとにこの時に一緒にがんばってくれた卒業生には感謝です。全国大会は各都道府県が順番に担当していますので、次回は2065年ぐらいかな。そのころの園芸高校をはじめ農業高校はどんなふうになっているのでしょうか。



大会誌



体育館での競技の様子

平板測量競技

平板測量競技は、FJF 全国大会において、全国47都道府県から予選で選ばれた49の代表チームが競い合う技術競技です。競技は3人1チームで、グラウンドに設置された6つの測点に対して平板測量を行い、審査員が測量の正確さや作業ミスによる減点をもとに審査し、最優秀チームが決定されます。

大阪大会開催の5年前、大阪での全国大会開催が決定され、環境緑化科が平板測量競技会の運営を任されることになりました。早速、生徒実行委員会が組織され、毎年全国大会の下見・見学を行う中で、競技会運営に必要なスタッフ数が極端に足りないこと、また適切な条件を備えた会場の選定が必要であることが明らかになりました。スタッフ数の問題は、綿密な運営計画と練習で克服することとし、会場については全国大会ならではの様々な条件を満たす「万博記念競技場」が選定され、全国大会に向けて準備が進められました。

平成28年、いよいよ大会当年となり、環境緑化科とバイオサイエンス科の生徒たちが様々な役割に分かれて大会準備と運営の練習を開始しました。特に、8月18日にはリハーサル大会として、万博記念競技場において測量競技近畿大会を開催。近畿2府4県から11チームが参加し、本番さながらのスケジュールで競技会を実施しました。この大会を通じて、運営の役割確認や問題点の改善ができ、何より運営に携わる生徒たちの大会へのモチベーションが高まりました。

そして、10月25日、大阪大会当日を迎えます。歴代最少となる大会運営スタッフ183名が、いよいよ本格的な運営を開始します。生徒一人ひとりが複数の役割を担っていたため、欠席者が出ると致命的な状況でしたが、なんと欠席者も遅刻者もゼロ！ 天候にも恵まれ、宿舎からバスでやって来た選手たちを笑顔で迎え、秒単位に刻まれたスケジュール通りに、それぞれの役割を果たしました。いくつかの笑えるトラブルもありましたが、競技運営は円滑に進行し、無事に終了しました。そして、夕闇の中、会場から選手を乗せた最終バスを全員で見送り、大会の幕を閉じました。

さて、この測量競技会において、大阪府代表チームはどうなったのでしょうか？ 残念ながら、大会運営を優先したため、今回は出場を棄権しました。涙。しかし、次の岡山大会では、園芸高校チームが見事に入賞を果たしました。大変な準備でしたが、全国大会という滅多にない大きなイベントの運営に、生徒と教員が一丸となって取り組めたことは、とてもラッキーで楽しい思い出になったと思います。



クラブ員代表者会議

クラブ員代表者会議とは、全国の農業クラブ員の意見交換や活動の発展、また資質向上を目的として行われています。分科会は9の会場に分かれ、事例発表校の発表や分科会ごとのテーマについて実施しました。

園芸高校は「農業鑑定競技」、「平板測量競技」及び「クラブ員代表者会議」の担当校となっており、会場的にも人員的にも非常に厳しい状況でした。園芸高校は、農業鑑定競技の実施会場のため使用できず、農芸高校を実施会場として行うこととなりました。そのため、運営も園芸高校と農芸高校の混成チームでの運営になり、連携をとるのが難しかったのですが、運営生徒はそれぞれが積極的に取り組んでいました。

テーマ

第1分科会

産業活性化に向け農業クラブが貢献できること

第2分科会

校内農業クラブが農業クラブを理解し、一丸となって活動を盛り上げていくためにはどのようにしたらよいか

第3分科会

耕作放棄地や自然災害で農業を行えなくなってしまう土地に対し農業クラブ員にできることは何か

開催当日は、園芸高校、農芸高校の生徒128名を中心に運営を行い、全国から集まったクラブ員232名を迎えてクラブ員代表者会議を実施しました。

各分科会は白熱した議論が繰り広げられ、参加した生徒だけでなく運営した生徒にとっても刺激的で収穫の多かった会議となったのではないのでしょうか。また、園芸と農芸の生徒がともに連携しクラブ員代表者会議を運営し、成し遂げたことは素晴らしい経験になったと思います。

さらに、クラブ員代表者会議JT生命誌研究館館長の中村桂子さんを講師として「二十一世紀型社会に向けて－農業高校生への大きな期待－」と題して人類の祖先や生命についてのお話を中心に講演していただきました。最新の農業関連の情勢などをわかりやすく説明していただき、生徒にとってもこれからの農業を考えるいい機会になったと思います。



クラブ員代表者会議

2016 平成28年

〔流行語〕

● 神ってる ● PPAP ● ポケモン GO

● 盛り土 ● 聖地巡礼

〔2016年の漢字 金 〕

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組
1 年	堀内 俊樹	田中 舞	富澤 明	三船 誠一	廣田美佐子
2 年	奥村 倫子	酒井さとえ	橋詰五百騎	関 哲也	石田 真一
3 年	青山 竜也	尾崎 幸仁	山野 哲	滝北 恵子	林 幸広



2017 平成29年

〔流行語〕

● インスタ映え ● 村度 ● Jアラート

● プレミアムフライデー ● フェイクニュース

〔2017年の漢字 北 〕

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組
1 年	中野 遼	山根 伸彦	榎原佐代子	藤野 章子	村岡 裕麻
2 年	堀内 俊樹	田中 舞	村上 郁美	三船 誠一	廣田美佐子
3 年	奥村 倫子	酒井さとえ	橋詰五百騎	関 哲也	大西 人志 石田 真一



2018 平成30年

[流行語]

- そだねー ●災害級の暑さ ●eスポーツ
- 翔タイム ●ご飯論法

[2018年の漢字 災]

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	板東咲葉子	早川 民明	落田 豊久	西村 香	河原 恵梨
2年	中野 遼	山根 伸彦	榎原佐代子	藤野 章子	村岡 裕麻
3年	堀内 俊樹	田中 舞	臼井 壮一	三船 誠一	西岡 久夫 廣田美佐子



2019 平成31年／令和元年

[流行語]

- ONE TEAM ●令和 ●タビる／タビ活
- キャッシュレス／ポイント ●還元

[2019年の漢字 令]

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	尾崎 幸仁	藤原 牧葉	浅田 昇太	吉田 和仁	青木 健
2年	板東咲葉子	早川 民明	落田 豊久	西村 香	河原 恵梨
3年	中野 遼	山根 伸彦	榎原佐代子	藤野 章子	村岡 裕麻



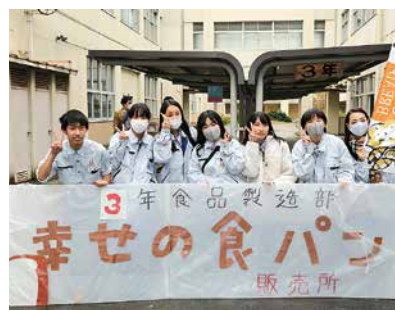
2020 令和2年

〔流行語〕

- 3密 ●ステイホーム ●Go To キャンペーン
- ソーシャルディスタンス ●アベノマスク

〔2020年の漢字 密〕

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	荻野 歩	畑 みのり	芋縄 有磨	影山庸一郎	村岡 裕麻
2年	尾崎 幸仁	藤原 牧葉	浅田 昇太	吉田 和仁	青木 健
3年	板東咲葉子	早川 民明	落田 豊久	西村 香	河原 恵梨



2021 令和3年

〔流行語〕

- SDGs ●緊急事態宣言 ●マリトッツォ
- 東京五輪 ●ヤングケアラー

〔2021年の漢字 金〕

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	松川 雅哉	嶋田 将人	向山 公次	奥浜奈津美	松田 嘉織
2年	荻野 歩	畑 みのり	芋縄 有磨	影山庸一郎	村岡 裕麻
3年	尾崎 幸仁	藤原 牧葉	浅田 昇太	吉田 和仁	青木 健



2022 令和4年

[流行語]

- 村神様 ●きつねダンス ●宗教2世
- メタバース ●ヤクルト1000

[2022年の漢字 戦]

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	佐藤 友	高岡 真生	細見 陽子	市原 伸晃	青木 健
2年	松川 雅哉	嶋田 将人	向山 公次	奥浜奈津美	植埜 智博
3年	荻野 歩	畑 みのり	芋縄 有磨	影山庸一郎	村岡 裕麻



2023 令和5年

[流行語]

- アレ (A.R.E. / 阪神タイガース) ●メガ割
- 生成 AI (ChatGPT) ●インボイス制度

[2023年の漢字 税]

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	宮腰 倫義	竹本 晃	芋縄 有磨	長田 裕之	橋本 隆史
2年	佐藤 友	高岡 真生	細見 陽子	市原 伸晃	青木 健
3年	松川 雅哉	嶋田 将人	向山 公次	奥浜奈津美	植埜 智博



2024 令和6年

[流行語]

- リスキリング ● 新紙幣 ● 能登半島地震
- 為替介入／歴史的円安 ● ジェンダーレス制服

[2024年の漢字 金]

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	坂口美代子	嶋田 将人	西川沙耶加	藤浪 未采	植埜 智博
2年	宮腰 倫義	竹本 晃	芋縄 有磨	長田 裕之	橋本 隆史
3年	佐藤 友	高岡 真生	細見 陽子	市原 伸晃	青木 健



2025 令和7年

[流行語]

- エッホエッホ ● 音源バズ ● 押し活
- 入れ違いグッジョブ ● 生成 AI 副業
- リアルイベント復権

	1組	2組	3組	4組	5組
1年	岡田 駿	兼田明日香	奥浜奈津美	高岡 真生	廣田美佐子
2年	坂口美代子	嶋田 将人	西川沙耶加	藤浪 未采	影山庸一郎
3年	宮腰 倫義	竹本 晃	芋縄 有磨	長田 裕之	橋本 隆史



農業クラブ活動

現在の園芸高校農業クラブは、課題研究班や専攻を単位とした全員参加の教育課程内で取り組まれる活動と、部活動として希望者が参加し課外時間に活動する専門部活動の2つの領域から成り立っている。各学科の特色ある活動が展開されており、各分野で様々な成果をあげている。

令和6年度では、フラワーファクトリ科の生徒が、企業と連携し池田ミカンを使用した調味料である

「みからりん」を共同開発し、販売や出前授業に取り組んだ内容を「ひろげる、池田の特産品、ひろがる、私の未来」のタイトルのもと分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」において意見発表を行った。結果として、第74回大阪府学校農業クラブ連盟大会および第72回近畿学校農業クラブ連盟大会にて、最優秀賞を受賞し、第75回日本学校農業クラブ全国大会へ出場した。



令和6年度 岩手大会の様子



全国大会での発表の様子



全国大会の会場での様子



販売している「みからりん」

令和7年度 園芸高校学校農業クラブ専門部一覧

学科	クラブ名
フラワーファクトリ	草花・植物バイオテクノロジー・果樹・野菜・園芸デザイン
環境緑化	測量・造園施工・ビオトープ・造園管理
バイオサイエンス	食品製造・バイオ研究・農産加工・微生物・食品栄養

フラワーファクトリ科

FF 科の10年間について 野菜専攻

野菜専攻では、露地のほ場とビニールハウスを用いた野菜栽培の実習を行っています。

野菜専攻で栽培している野菜の紹介:春～夏エンドウ、ソラマメ、ジャガイモ、タマネギ、オクラ、カボチャ、キュウリ、ナス、ピーマン、秋～冬ハクサイ、キャベツ、ネギ、ホウレンソウ、カブ、ダイコンなどわれわれの日常の食卓にのぼる野菜を栽培しています。野菜専攻ではこれらの一般的な野菜栽培の他、近年の食生活の多様化や、夏の猛烈な暑さにも耐えうる野菜として、熱帯地域原産のコリアンダーやバジル類のような香辛野菜などの試験栽培、浪速の伝統野菜など大阪独自の個性的な野菜の普及や保存に努めております。

野菜専攻で、近年新たに行うようになった取り組みについて2つご紹介したいと思います。

①水田稲作

なんで野菜が米作とんねん!と突っ込みが入るかもしれませんが、長年野菜栽培を続けてきた野菜専攻のほ場では、作物自身から生じる老廃物や病原菌の蓄積による連作障害が多く発生しておりました。2018年以降、野菜専攻のほ場を8つの区画に分割して、そのうち1つの区画で水稻の栽培を行ったところ、連作による病害の発生や雑草の発生を抑えることができたことから、6月の田植えと10月の稲刈りが野菜班の作業に加わりました。生徒の反応もよく皆楽しんで作業に取り組んでいることから(図1)、今後も継続していくつもりです。

②食育授業・収穫体験

約40年以上にわたって継続してきた北豊島小学校の栽培学習が新型コロナの影響で4年間途絶えておりましたが、今年度より復活することができ、先日100名を超える小学2年生が来校し、本校生徒がサツマイモ苗の植



図1. 今年の田植え



図2. 北豊島小学校の栽培学習



図3. 附属池田小学校の収穫体験



図4. 子育てサークルの収穫体験

え付け指導を行いました(図2)。その他、大阪教育大学附属池田小学校への給食食材の提供、野菜の収穫体験(図3)、近隣幼稚園や子育てサークル等の収穫体験(図4)の受け入れなど可能な限りお受けしております。

園芸デザイン専攻

園芸デザイン専攻では播種から花苗の栽培・管理、定植まで一貫して行っています。高校の敷地内だけでなく、地域の方々とも花壇作りや花苗作りをしています。地域の方と一緒に定植する時は、事前に生徒が花壇のデザインを考え、当日はデザイン案に沿って花苗を配置し、地域の方々とコミュニケーションを取りながら和気あいあいと定植しています。また、花苗作りは小・中学校に出向き、わかりやすく実践しながら一緒に作業を行っています。

また、2021年からは兵庫県立明石公園で開催されている「ひょうごまちなみガーデンショー」にも出展しています。幅2.3m×奥行1.5mの区画内にスモールガーデンを作り出します。生徒たちがテーマやデザインを考え、花苗だけでなく構造物も制作します。そのため、出展する期間は9月末ですが夏休み期間もずっと創作活動を行っています。また、11月に開催される創立記念祭でも同様のスモールガーデンを設置し、記念祭に来校された方々にもご覧になっていただけるようにしております。

園芸高校の花苗が地域に彩りと癒しを提供できるよう、日々頑張っています。



2021年「ひょうごまちなみガーデンショー」出展作品

果樹専攻 一企業連携の取り組み—

園芸高校特製ソース「ソースの樹」

果樹専攻では多くの種類の果樹を栽培、販売する中で、果実の傷等の規格外のものが多く出る。もちろん食べることはできるが商品として販売することはできない。その果実の利用法として、2021年より大阪市港区の(株)大黒屋と連携し規格外果実を使った濃厚ソースを製造、販売している。規格外果実の量、樹種の割合等は毎年変わる。それに伴いソースに使用される果実の量、割合も変わる。そのことにより毎年違った味になる。これもコンセプトの1つとして楽しんでもらえている。



池田ミカンを使用した柚子胡椒「みからりん」

果樹園では、18年前から大阪府池田市固有の温州ミカンである池田ミカンを栽培している。一昔前までは店頭に並んでいたが、だんだんと姿を消していった。この池田ミカンのアピール、また栽培管理の中で大量に廃棄される摘果したミカンの活用法を模索していたところ、池田ミカンの摘果ミカンはユズに似ているという生徒の意見から、高石市で柚子胡椒を生産、販売する(株)柚子辛凛に連絡を取り、商品が出来上がった。現在のこの取り組みは3年目をむかえ、多くの方から好評をいただいている。



池田ミカンから抽出したエッセンシャルオイルを使ったアロマスプレー

池田ミカンは香りの強さが特徴である。現在、豊中市で国産のエッセンシャルオイルを製造、販売する合同会社かおりとーkaoritoーと連携し、その香りを活かしたアロマスプレーを開発中。

草花専攻

草花専攻では、切花や鉢物の栽培またその利用に関しても積極的に取り組んでいます。ここ10年の間でフラワー装飾技能検定という花装飾に関わる国家検定の受

験者が年々増えており、2級合格者も毎年7、8人出ています。またここ数年で技能五輪全国大会など数々の大会に出場し成果を挙げています。

さらに2021年度末にスマート農業に関わる予算が付き、環境制御型ビニールハウスが設置されました。



この施設では、ハウス内の室温や飽差、CO2濃度に加え、日射量に応じた灌水やECによる液肥散布などを制御することができ、栽培データをパソコン内に記録することが可能となっています。2022年度7月よりこのハウスにてカーネーションの栽培に取り組んでおり、前述した国家検定の練習用花材や母の日の販売など様々な場面で利用することができています。現在は摘心位置の違いによる収穫本数と草丈などについて研究を進めています。

平成30年11月

専門高校生の研究文コンクールで全国最優秀

元フラワーファクトリ科教員 高34期(園芸科卒)

足立 享志

平成30年度産業教育振興中央会が主催する専門高校生の研究文コンクールで草花専攻菊鉢物班(現草花B班)が応募した研究文が全国で最優秀賞を受賞しました。これは工業、商業、農業、家庭、総合学科等の専門高校生を対象にしたもので園芸高校だけでも3つの研究文を応募しています。そのうちの1つが大阪代表作品となり全国各都道府県の代表作品と競って日本一になりました。

内容は菊の挿し芽を行うときに挿し穂を冷蔵した後、インドール酪酸に浸けて、ロックウールに挿すと発根率が向上すること。その苗を韓国に送って、花が咲いたことをまとめたものです。なお、論文の全文は月刊誌「産業と教育」平成30年12月号に掲載されました。



「産業と教育」平成30年12月号より

環境緑化科

環境緑化科では、110年の伝統を誇る学びの歴史を受け継ぎつつ、時代の変化にあった学びの創造を続けてきました。古き良き時代の伝統ある庭園から近代の都市緑化や都市公園に至るまで、造園の持つ機能としての変遷や環境問題に対する取り組みまで、その時代の社会に沿った柔軟な教育を行ってきました。

また、本科では資格取得に力を入れており、2級、3級造園技能検定をはじめ、2級造園施工管理技士補や2級土木施工管理技士補、玉掛け、小型移動式クレーン、小型車両系建設機械、伐木等の業務など様々な資格に挑戦してきました。



技能講習（玉掛け）



課題研究の作品

日頃より座学や実習の中で、知識と技術を身に付け、様々な地域のイベントに参加することで生徒たちが知識や技術を披露する機会を作り、地域との繋がりを大切にしています。



砂紋引き



門松の作成



箱庭づくり



測量実習

環境緑化科の農業クラブ紹介



造園管理部

樹木の管理や繁殖方法について学ぶとともに、樹木の普及活動として、超ミニ盆栽のワークショップなどに取り組んでいます。



造園施工部

地域のイベントで箱庭をつくったり、門松を作成したりしています。技能五輪などの大会にも出場しています。



測量部

農業クラブの平板測量競技会の全国大会に出場し、入賞を目指して練習に励んでいます。

その他にも、様々な測量技術について学びます。



ビオトープ部

実習庭園を中心に生息する様々な生物の調査・研究に取り組んでいます。

また、研究内容を様々な研究発表会で発表する機会も大切にしています。

バイオサイエンス科

バイオサイエンス科は1956年に農芸化学科として設置され、1987年に微生物技術科、2006年にバイオサイエンス科へ学科改編されました。2012年から5年間SSH（スーパーサイエンスハイスクール）として研究指定され、その後の経過措置として2年間支援を受けていました。その間に定着した学科内での3年生での課題研究発表会では、すべての3年生が研究に取り組み、発表準備をして1,2年生の前で堂々発表をしています。そのような姿を下級生である1,2年生が見ることで自らの研究に意欲をもって取り組んでいます。R4年度入学生からカリキュラムを変更し、それまで3年次からコースに分かれていたのを2年次からコースに分かれるように変更し、より専門性を高め、課題研究も2年生から実施することで長期的な取り組みを行うことができるようになりました。



課題研究発表会の様子

各専攻の主な取り組み

食品製造専攻

地元での商店街の空き店舗を活用したパンの販売や専門学校主催のパンコンペで入賞し、実際に考案したパンがパン屋さんの店頭で販売されるなど、企業連携や地域社会とつながりながら精力的に活動しています。その他にもパンコンテストや菓子検定などにも挑戦しています。



イチゴジャム食パン

農産加工関係

漬物のレシピ開発及び創立記念祭や各種のイベントでの販売などを行っている。代表商品の「園芸キムチ」は記念祭での人気商品である。また、地域の保育園や小学校などと連携して、農業体験から食育活動まで通して実施し、その活動で栽培した園芸高校産の野菜を使用し、企業の協力を得て、レトルト食品のカレーリゾットを製造、改良を重ねて、2024年には池田市のふるさと納税の返礼品として提供も行った。防災意識の向上のため防災イベントでの販売にも参加している。



園芸キムチ



カレーリゾット

食品栄養専攻

アレルギーフリーのレシピ考案や廃棄農産物の活用法の検討、野菜の種類による成分分析など栄養に関する研究を行っています。その他では、商業施設などでのイベントでの化学実験体験としてバスボムづくりやスライムづくりなど化学を身近に感じられるような体験事業を実施している。



乾燥中のバスボム

バイオ生産専攻

微生物や植物など幅広いテーマで研究活動を行っています。研究の成果を大阪府内の研究発表会や高校生向けの学会など多くの発表機会があり、多数入賞しています。研究成果を生かしてFFJの上級位や特級位などを取得する生徒も増えてきています。その他では、商業施設等でのイベント時にキノコの人工栽培体験や発光細菌を利用したバイオアート体験なども実施しています。



発光細菌のバイオアート



ハイドロカルチャーもみじ

スマート専門高校事業や DX ハイスクール事業で導入された設備の一部紹介



指導者の手元を映すモニターとカメラ



水耕栽培による植物工場

バイオ・食品技術のプロの卵として経験の幅を広げる分析機器類
食品化学デジタル分析装置！「食品品質管理分析ユニット」

紫外可視分光光度計
サンプル溶液の吸光度を測定し、濃度を計算する装置です。サンプルに含まれる物質の濃度を測定するための汎用装置です。実習では、糖やビタミンなどの分析をします。

ガスクロマトグラフ
サンプルから出る揮発性成分の分離と検出を行う装置です。実習では、アルコール成分の分析をします。

原子吸光分光光度計・マイクロ波試料分解装置
微量の元素を高精度で検出する装置です。試料をマイクロ波で加熱分解し、元素を原子化して測定します。実習では、食品中のミネラル成分の分析をします。

電気伝導率 (EC) 計・pH計
EC計・pH計は、水質の検査に不可欠な装置です。水質の検査や、水質の管理に必要です。実習では、水質の検査や、水質の管理に必要です。

デジタルマイクロスコブ
食品や薬品の顕微鏡観察に不可欠な装置です。1年次から生物実験の観察や、食品の観察に不可欠な装置です。

データサーバー
バイオが活用する2階、3階の分析装置と接続されている状態で運用しているサーバーです。実習では、データの保存や、データの管理に不可欠な装置です。

高速液体クロマトグラフ
サンプル中に含まれている成分の分離と検出を行う装置です。実習では、食品中の成分の分析をします。

食品化学第4実験室 食品化学第3実験室 食品化学第2実験室 食品化学第1実験室 食品化学第0実験室

バイオサイエンス科3階の食品品質管理分析ユニットの設置箇所

食品分析ユニット

教務部

カリキュラムについて（自立支援コースのカリキュラムは割愛）

新学習指導要領に伴い、国語と社会の科目が大幅に変わりました。また、ICT 教育推進を見越して、情報科の科目が入りました。それまでは情報科の授業内容は「農業情報処理」で代替していました。10年前はSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）コースがあり、そのコースの科目が特徴的です。例えば「科学と人間生活」はSSH コースでは「Science」で代替していました。また、1年生の全学科で、週に1回、7時目の授業「基礎学力」がありました。

平成27年度（2015年）入学生カリキュラム ※「物理基礎」は選択で放課後に実施

学年	学科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1	FF	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	美術Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	農業と環境	総合実習	草花	植物バイオテクノロジー	エコアグリ	基礎学力	HR	物理基礎																		
	KR	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	美術Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	農業と環境	総合実習	造園計画	造園製図	造園管理	基礎学力	HR	物理基礎																		
	BS	国語総合	現代社会	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	美術Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	農業と環境	総合実習	食品化学	微生物利用	基礎学力	HR	物理基礎																			
2	植物デザインコース																																		
	FF	現代文B	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	家庭基礎	課題研究	総合実習	農業情報処理	草花	園芸デザイン	野菜	果樹	選択▲	HR	物理基礎																
	初中園芸コース																																		
	KR	現代文B	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	家庭基礎	課題研究	総合実習	農業情報処理	造園製図	環境計画	環境緑化材料	選択▲	HR	物理基礎																	
	食品科学コース生命科学コース																																		
3	BS	現代文B	世界史A	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	家庭基礎	課題研究	総合実習	フードサイエンス基礎	バイオサイエンス基礎	農業情報処理サイエンス情報	選択▲	HR	物理基礎																		
	SSHコース																																		
	植物デザインコース																																		
	FF	現代文B	日本史A	数学Ⅱ	科学と人間生活	体育	農業英語	課題研究	総合実習	園芸ビジネス	草花	園芸デザイン	野菜	果樹	選択#	HR	物理基礎																		
	環境コース																																		
3	KR	現代文B	日本史A	数学Ⅱ	科学と人間生活	体育	農業英語	課題研究	総合実習	造園CAD	造園施工管理技術	環境計画	環境緑化材料	選択#	HR	物理基礎																			
	緑化コース																																		
	食品科学コース																																		
	BS	現代文B	日本史A	数学Ⅱ	体育	農業英語	課題研究	総合実習	食品製造	食品流通	食品バイオテクノロジー	食品衛生	科学と人間生活	選択#	HR	物理基礎																			
	SSHコース																																		
グローバル生物																																			
グローバル化学																																			
技術																																			
選択#or選択#を選び、その中から計2単位選択																																			

2年選択▲：英語演習，キャリアアップ，園芸利用（FF），造園管理（KR），食品栄養（BS）

3年選択#：国語表現，古典A，発展世界史，数学A，化学，生物，音楽Ⅰ，美術Ⅱ，工芸Ⅰ，書道Ⅰ，英語演習，韓国・朝鮮語入門，農業科学（FF），キャリアアップ，園芸利用（FF），服飾手芸，フードデザイン，手話入門，造園技術（KR），造園管理（KR），食品栄養（BS），環境科学（BS）

3年選択□：食品製造，食品流通，食品バイオテクノロジー，食品衛生／3年選択■：植物バイオテクノロジー，生物化学，バイオサイエンス

令和7年度（2025年）入学生カリキュラム ※「総合実習」は課外へ移動

学年	学科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32				
1	FF	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	音楽Ⅰ、美術Ⅰ	農業と環境	草花	果樹	HR	総合実習																					
	KR	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	音楽Ⅰ、美術Ⅰ	農業と環境	造園計画	造園技術	HR	総合実習																					
	BS	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	音楽Ⅰ、美術Ⅰ	農業と環境	食品微生物	バイオ研究基礎	HR	総合実習																					
2	草花デザインコース																園芸デザイン																草花	果樹	選択▲	HR	総合実習
	FF	論理国語	地理総合	数学A	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	課題研究	植物バイオテクノロジー	野菜					果樹	選択▲	HR	総合実習																	
	環境計画コース																造園技術																測量・CAD	造園植栽	選択▲	HR	総合実習
3	KR	論理国語	地理総合	数学A	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	課題研究	造園施工管理	造園技術	測量・CAD	造園植栽	選択▲	HR	総合実習																				
	緑化材料コース																フードサイエンス基礎																食品製造	選択▲	HR	総合実習	
	食品科学コース																フードサイエンス基礎																食品製造	選択▲	HR	総合実習	
4	BS	論理国語	地理総合	数学A	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	課題研究	食品化学	バイオサイエンス基礎	食品製造	選択▲	HR	総合実習																					
	生命科学コース																バイオサイエンス基礎																食品製造	選択▲	HR	総合実習	
	草花デザインコース																園芸デザイン																草花	果樹	選択#	HR	総合実習
5	FF	文学国語	歴史総合	数学演習	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	課題研究	草花					園芸デザイン	野菜	果樹	選択#	HR	総合実習																		
	都市園芸コース																造園技術																測量・CAD	造園植栽	選択#	HR	総合実習
	環境計画コース																造園技術																測量・CAD	造園植栽	選択#	HR	総合実習
6	KR	文学国語	歴史総合	数学演習	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	課題研究	造園施工管理	地域資源活用	造園植栽	選択#	HR	総合実習																							
	緑化材料コース																フードサイエンス基礎																食品製造	選択#	HR	総合実習	
	食品科学コース																フードサイエンス基礎																食品製造	選択#	HR	総合実習	
7	BS	文学国語	歴史総合	数学演習	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	課題研究	食品製造					バイオサイエンス	食品製造	選択#	HR	総合実習																			
	生命科学コース																バイオサイエンス																食品製造	選択#	HR	総合実習	
	草花デザインコース																園芸デザイン																草花	果樹	選択#	HR	総合実習

2年選択▲：英語演習Ⅰ，キャリアアップ，基礎教養，サイエンス情報（BS）

3年選択#：古典講読，音楽Ⅰ，美術Ⅰ，美術Ⅱ，書道Ⅰ，英語演習Ⅱ，実用英語，コンピュータ・デザイン，情報実践，園芸ビジネス（FF），園芸利用（FF），農業科学（FF），生活科学（FF & KR），造園基礎（FF & BS），服飾手芸，フードデザイン，化学，生物，造園技術実践（KR），情報CAD（KR），造園管理（KR），園芸基礎（KR & BS），アニマルサイエンス（BS），機器分析（BS），衛生管理（BS），農産加工（BS），食品製造（BS），フードサイエンス基礎（BS）

生活指導部

近年の生活指導部

ここ5年間の生活指導の推移は下記の表の通りである。「懲戒件数」に大きな変化はないが、ここ数年でSNSに関わるトラブルが増えてきている。近年は、高校入学時に外部講師を招いて「携帯安全講習」を実施するなど対策をとっている。

「遅刻者総数」は減少傾向ではあるが、「期間中で7回以上遅刻した生徒数」は横ばいで推移した。特に、昨年度は同じ生徒が何度も遅刻をする傾向があった。

校則としては、就職先などの意見に基づいて令和6年度よりピアスの着用を禁止にした。

【5年間の懲戒件数・遅刻者総数の推移】

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
懲戒件数 (件)	33	10	37	33	22
遅刻者総数 (名)	3711	3250	3553	2863	2845
期間中 (考査～考査) で7回以上遅刻した生徒数 (名)	119	70	70	47	64

遅刻指導について

本校の生徒の多くは卒業後の進路として就職を選択している。その為、高校生のうちに「基本的な生活習慣を身に付ける」ことを目的に遅刻指導を行っている。

今年度より、生活指導部では、生徒の特性などを考慮したうえで、遅刻しないための日常的な行動を考え書かせる「遅刻改善シート」を作成して、期間中の遅刻回数が5回、7回になった時点で、「遅刻改善シート」を生徒に記入させている。また、この「遅刻改善シート」を担当、家庭で共有することで、多方面からの指導をすすめている。

今後

近年、支援の必要な生徒も多くなっているため、生活指導と言っても一律に指導を行うのではなく、個々の特性や環境に合わせた指導をすすめる必要がある。



生活指導部



駐輪場

進路指導部

10年間の概要

進学と就職の割合は、進学40～45%、就職55～60%の比率で推移しており、あまり変化は見られません。

進学では、関西地区の龍谷大学や摂南大学の農学部の新設が続き、これまで以上に農学部系への大学進学機会が広がっています。また、専門高校推薦などの農業高校生向けの試験制度の充実や指定校の増加によって国公立大学や難関私立大学への進学者が増加しています。特に国公立大学への進学は、ここ数年フラワーファクトリ科、環境緑化科、バイオサイエンス科のすべての学科で合格者を輩出しており、各科での教員が協力して大学受験指導をする体制が構築されており、生徒の高いニーズにも対応できています。

就職では、近年の人手不足により高卒求人�うなぎのぼりで売り手市場となっています。これまでの農業関連の企業に加え、バイオ系のメーカーや製薬会社などの関連分野の指定校求人も増加しています。また、初任給や休日数、諸手当など待遇も改善されており、好条件での就職も大きな魅力といえます。

本校は、国公立大学から就職、就労支援施設など幅広い進路に対応しており、一人ひとりきめ細かな指導を教職員一丸となって行うことにより、生徒の進路保障を確立できています。

スタディサプリの導入

進学や就職において、基礎学力が問われる機会が多く、そのため基礎学力向上に向け、従前よりドリル学習などを行ってきましたが、R4年度より1,2年生を対象にリクルート社の「スタディサプリア」を導入し、基礎学力の充実を図っています。具体的には、年2回の到達度テストや日々の課題や振り返りを通して、進学や就職の試験に耐える学力を養うことを目標としています。

進路行事について

進路ガイダンスを1・2年生で年2回程度実施しており、就職と進学について学び、3年生の夏にはしっかりと進路目標が立てられるように段階的に指導しています。

3年生では希望別進路説明会を3回とそれ以降は進学者説明会と就職者説明会に分かれてそれぞれの進路指導を行っています。

特に就職者説明会では昨年度の卒業生が就職した企業を中心に毎年40社近くが参加する「企業説明会」の実施に力を入れています。生徒と企業との交流の場であることはもちろん、様々な分野で活躍されている企業の説明を聞くことによって、自身の進路選択を真剣に考えられるいい機会となっており、今後も継続していきたいと思っています。

資格について

進学希望者には、英検準2級の取得を強く勧めています。国公立大学や近畿大学の受験には不可欠であり、非常に有利な資格となっています。英語科の先生方のご尽力により、毎年多くの生徒が準2級や2級を取得し、さらには準1級に合格する生徒も出てくるようになってきました。これらの資格を生かして、R6年度では、兵庫県立大学をはじめ国公立大学6名、近畿大学5名と合格を勝ち取ることができました。入学後も大学の英語に苦しまない生徒が増え、活躍することを期待しています。

まとめ

本校は、進学、就職ともに大変恵まれた状況であると思っています。この有利な立場を生かして、自分の夢をつかめるよう指導を行っていききたいと思います。

保健部 保健部の10年間

定期健康診断について

学校保健安全法に基づき毎年定期健康診断を実施しています。健康診断では班編成にしており、生徒にわかりやすいよう封筒に地図や検査項目を明記し、検診漏れがないようにするとともに、健康診断終了後に保健部の教員を招集、振り返りを行い、より効率の良い運営ができるよう改善に努めています。

毎年改善することにより、年々全ての生徒が検診を終えられる時間が早くできるようになりました。

アレルギー対策について

本校は専門高校のため、食品を扱う授業も多く年度はじめの職員会議では養護教諭より、エピペンの講習を行うとともに、アレルギー情報の共有を行い、生徒の身の安全を教職員全体で守れるように取り組んでいます。

保健室来室者の推移

保健室来室者数（内科・外科で来室記録をとっている者）は10年間で増加傾向にあります。保健室に来る生徒は様々ですが、時期的には6月、9月、10月、11月、1月頃が多く、これは新しい環境に慣れてきた頃、長期休み明け、季節の変わり目や行事の前後、冬に流行しやすい感染症の影響があると考えられます。

生徒の抱える健康上の問題は多様化し、特にこころが辛くなる生徒が増加傾向にあります。今後も保健室が生徒にとって安らげる場所であるように生徒個々の悩みに寄り添っていかれたと考えています。

教育相談について

スクールカウンセラー（SC）に月に1回程度来校いただいています（年間60時間）。生徒だけではなく、保護者や教職員の相談にも対応していただいています。近年は生徒の相談件数が多く、スクールカウ

ンセラーによる研修等の実施が困難な状況にあることが課題です。生徒の相談件数の増加から、生徒の抱える問題は多岐にわたり、しんどい気持ちでも頑張っている生徒もいることが推察されます。生徒を支えることができるよう、今後はより、学校と保護者、専門家と連携を図りながら取り組んでいく必要があると考えます。

また、スクールソーシャルワーカー（SSW）にも来校いただいております。福祉の面でできることをアドバイスいただき、生徒の支援に繋がっています。

防災訓練について

毎年、防災避難訓練を実施しています。例年は火災による避難でしたが、今年度は地震により火災が発生した設定で行いました。

本校は選択教科が多く、HRで授業を行わない科目もあり、その場合の避難誘導について想定した訓練の実施も検討しています。

また、880万人運動では、アラームが鳴ることを生徒に確認させた後、放送により重要性を呼びかけています。

災害に直面した時、命をまもる行動を生徒が取れるように訓練を続けていきます。

講習・研修について

年度当初にエピペン・バクスマー講習を実施しています。また、教職員対象のAED講習会を実施し、参加率に課題があったので、業務が多く参加しにくい教職員の参加率を上げるため、短縮期間中の職員会議前に行うことを検討するなど工夫をしています。

生徒会

この10年間の生徒会の活動を報告いたします。

生徒会の1年間の活動は4月に新入生オリエンテーション、5月に生徒総会、6月に体育祭、11月に創立記念祭が主な行事になります。ただ、この10年間には2020年の新型コロナウイルスによって、学校行事を中止や縮小せざるを得ない数年間があり、そこから以前の形に戻していきながら、更に良いものに変えていくという数年間を現在進行形で継続しています。

大まかではありますが、以下に書かせていただきます。

【体育祭】

全学年が5団に分かれて、それぞれの団が優勝を目指して切磋琢磨します。

2017年の体育祭では、科対抗綱引きの競技中に大綱が切れるというアクシデントがありました。園芸高校の生徒の持つパワーに本当に驚かされる出来事でした。

園芸高校の体育祭には生徒たちが一生懸命に競技に取り組む姿がいつもあり、生徒のいつもと違う一面を見られる喜びと感動を与えてくれました。

しかし、2020年に新型コロナウイルスによって事態が一変しました。2020年の体育祭は中止、2021年には縮小した形で11月に開催となりました。コロナによる規制も徐々に落ち着いた2022年には少し競技を増やして同じく11月に開催しました。2023年には競技数など規模をコロナ前と同じように開催する予定でしたが、体育祭前夜の大雨でグラウンドコンディ

ションが非常に悪く、グラウンドを復旧させるのに時間を要し、開始時刻を遅らせたので、残念ながら縮小しての開催となりました。そしていよいよ2024年、久しぶりに規模をコロナ前に戻して体育祭を行うことが出来ました。

また、今年2025年には生徒会役員の発案で、それまで3年生だけ着用していたクラスTシャツを全学年着用にし、赤、青、黄、桃、緑のクラスTシャツを1年生から3年生まで着て、グラウンドで精一杯競技に取り組み、体育祭を今まで以上に盛り上げることが出来ました。

これからも生徒会役員を中心に、より良い体育祭になるようにしていきたいと思います。



【創立記念祭】

2000人以上来校する創立記念祭は本校のビッグイベントであり、近隣の地域の方にとっても大きなイベントであると言えます。農業高校である本校の創立記念祭は、野菜や果樹などの農作物やパン、味噌、パウンドケーキなどの食品の販売があり、菊の展示や、一夜庭園の展示、また色々な催し物があり、いわゆる普通の『文化祭』ではなく、やはり『創立記念祭』なのだと行われるたびに実感します。

その創立記念祭で、私たち生徒会はクラス展、クラブ展の取りまとめをし、金券の販売を担当していました。生徒会役員が金券を販売するのですが、他校と比べてもかなり大きな金額を扱うので、生徒会役員もこの日ばかりはピリッと緊張して取り組んでいました。



体育祭と同様になるのですが、2020年のコロナ禍によって、2020年～2021年までは入場規制等をしての縮小した開催になり、2022年から徐々にコロナ前の創立記念祭の形に戻しての開催ができるようになりました。

また新たな取り組みとして、2023年には開会式に生徒会役員と農業クラブ役員による劇とダンスの披露、昨年2024年には生徒会役員と農業クラブ役員と有志の生徒による劇とダンスの披露を行っています。「創立記念祭をもっと盛り上げたい、そのためにはどうすればいいか。」と生徒会役員、農業クラブ役員で考え、話し合い、作り上げていくことができたように思います。さらに2024年の創立記念祭からは金券での支払いを電子決済に変更し、開催しました。新たな取り組みだったので、生徒向けに決済の練習日を設けるなど生徒会役員、各クラスの会計委員を中心に当日のために準備を行いました。

これからも生徒会がどのように創立記念祭を盛り上げていくか、どのように携わっていくかを生徒が主体となって考えていけたらと思っています。



【その他】

上記以外の活動として、生徒会役員が朝、校門前に立って挨拶運動を継続して行っています。この運動は教員に指示されてやっているわけではなく、園芸高校にもっと挨拶の輪が広がるようにと、生徒会役員が自ら主体的に続けていることです。

また、2022年6月には、生徒会主催で球技大会を行いました。これは、まだコロナ禍の影響が少しある中で体育祭が11月であったため、1学期の間に何か行事をしたいという生徒会役員の思いがあって開催にいたりしました。出場を希望するクラスのみで放課後に開催しましたが、生徒会役員が企画、運営する中で生徒会役員としての責任感や実行力を養うことが出来た行事であったと思います。



【まとめ】

この10年間、コロナ禍で様々な行事が縮小せざるを得ない時期もありましたが、たくさんの工夫をしながら体育祭や創立記念祭などの行事を続けてこられたと思います。そこには、行事を大切にしたいという生徒の思いがあり、その思いを大切にしたいという教員の思いがありました。

これからも、「より良い学校、行事にしたい」という生徒の思いを大切に、失敗しても大丈夫だから生徒がもっともっと主体となって動けるような生徒会でありたいと思います。

自立支援コース

自立支援コースとは

大阪府では、すべての生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本とし、ひとりひとりの障がいの状況に応じて必要な支援を行う教育を推進しています。自立支援コースは府立高校11校に設けられており、園芸高校には2003年から設置されました。カリキュラムや授業内容を工夫し、知的障がいのある生徒がいきいきと高校生活を送り、障がいのあるなしにかかわらず、学びと交友を深めていくことを目指しています。



本校の特色

園芸高校自立支援コースの特色は、農業高校の専門性です。3年間各学科それぞれの実験実習を通して、協調性・自主性・勤労観を育みます。

その他にも、生き物を教材として扱うことにより、生命や自然の尊さ、大切さを学びます。植物の栽培や造園管理、食品製造の実習において、頑張った努力が実を結ぶことを経験し、成功体験を積み重ねる中で、働くことの大切さを学びます。また、可能な限りホームルームクラスでみんなとともに学ぶことを大事にしています。以前は、国・数・英は抽出の授業でしたが、2022年入学生より、生活自立2単位のみに変更になり、その他の科目はすべてクラスでの授業に参加しています。

考査・成績について

定期考査は原則、ホームルームクラスで受けます。但し、別問題のものもあります。成績は、各教科で学習目標を設定し、その達成度によって個人内評価を行います。点数は、参考点として出し、支援学校と同じく文章での評価も行い、終業式で本人に渡します。

就労支援

職場実習に参加します。1年生は大阪府庁舎で、2年生からは企業での実習を実際に行います。職場体験を通して、就労に対する意識向上、意思伝達能力の必要性、ビジネスマナーの習得などをめざします。

入試について

2022年入学生より「総合募集」1学年各学科1名+1名の4名(それ以前は各学科1名の3名)となりました。選抜方法は、自己申告書をもとに面接と調査書と推薦書で行っています。



3年生活自立



大阪府庁実習



編集後記

平成27(2015)年度、創立100周年記念誌「あげ雲雀」を発行したのが、つい昨日のように感じています。100年以降のこの10年間は、新型コロナウイルス感染症によって、社会的にも歴史に残る大きな変化がありました。それまでの日常は失われ、これまで受け継がれてきた行事なども、変更せざるを得ない中、生徒たちも教職員も精一杯取り組んできました。

この創立110周年記念誌は、10年間の様子を掲載するとともに、平成28(2016)年の「日本学校農業クラブ全国大会」大

阪大会の記事を記録しました。紙面の都合上、原稿を厳選して掲載したことをご了承いただければと思います。

本誌が次の園芸高等学校のステップの一助となれば幸いです。最後になりましたが、お忙しい中、快く執筆を引き受けてくださった教職員の皆様、ありがとうございます。また、沢山の写真を提供してくださった総合写真企画様、70周年から100周年記念誌、この110周年記念誌も制作全般に尽力いただいた「出版樹々」の井上さんに心より感謝申し上げます。

創立110周年記念誌編集委員会

大阪府立園芸高等学校 創立110周年記念誌

発行日 令和7(2025)年11月9日

発行 大阪府立園芸高等学校

〒563-0037

大阪府池田市八王寺2丁目5番1号

TEL 072-761-8830

FAX 072-761-9295

編集 創立110周年記念誌編集委員会

制作 出版樹々／寿印刷株式会社

〒555-0021

大阪市西淀川区歌島1丁目4番4号

TEL 06-6476-2156(直通)

TEL 06-6471-3434(代表)

